

文学部コミュニケーション学科 3年

留学先: 華東師範大学(中国)

留学期間: 2025年2月～2026年1月

・留学を決めたきっかけや目的

中国の心理学に興味がありましたが、日本での学習機会が限られていたこと、家庭教師のバイトで中国や台湾からの児童に日本語を教える過程で、自分自身の中国語スピーキング力や聞き取り力の不足を痛感したことが留学のきっかけとなりました。中学生～高校生初期に心身の不調を経験した際、中国の新聞記事で自傷行為の捉え方の違いを知り、中国の考え方に深い関心を抱きました。目的は、語学力を大幅に向上させるとともに、青年心理学を深く学び、現地の若者の声を直接聞いて机上の学問では得られない理解を深め、将来日本・中国・台湾の若者の精神的支援に貢献することです。

・留学中に意欲的に取り組んだこと、その成果

話しかけられたら積極的に会話し、会話が続くようにしていました。恥ずかしくても、簡単な単語でもいいのでたくさん会話することが大事だと思います。その結果、聞き取りに関してはだいぶ慣れるようになってきましたし、わからない場合もわからないことが伝えられるようになりました。

・留学を通して異文化について気づいたこと

クラスメイトも全員色々な国から来ているので、文化も違います。例えば授業の出席態度やスケジュールの調整についてです。でもお互いの文化やバックグラウンドをわかり合えるように、お互い自分の国の文化について話したりする時間があり、視野が広がりました。

